

#女性の輝く未来のために

2021年
春号 新宿総支部ニュース

挑戦します

コロナ禍で奮闘する
「シングルマザーの^{テレワーク}就業」を
支援

コロナ禍で離職や休職を余儀なくされているシングルマザーや若年女性に対し、支援団体と都の連携で、テレワーク企業の求人開拓や就職面接会の開催など、テレワーク就労を支援。子育てしながら働ける環境づくりに取り組みます。

DV(家庭内暴力)被害等から
女性を守ります

DV被害など様々な困難を抱えた女性に対して、SNSによる相談や夜間の見守り、アウトリーチ(訪問支援)や居場所の提供、さらに就労支援などを実施していきます。



「子育て世代包括支援センター」の設置(令和3年度)

妊娠期から育児まで切れ目のないサービスを行う拠点づくりの提言を公明党は続けてきました。このたび、これらを切れ目なくワンストップ(1カ所)で相談対応ができる「子育て世代包括支援センター」が設置されます。(令和3年度)

出産、育児の不安に寄り添い、産後うつや児童虐待などから、お母さんと子どもを守る役割を果たします。

「女性の健康」と 「子育て支援」に全力

大久保病院に「女性専門外来」を設置

公社大久保病院に、女性専門外来の設置を推進しました。女性医師が女性特有の症状を診察するから安心です。今では、全国各地の国立病院、民間医療機関に広がっています。

四谷には「健康支援センター」

四谷の「女性の健康支援センター」では、出産や更年期など、女性ならではの心身の悩みを気軽に相談できます。

女性の健康支援センター
TEL.03-3351-5161 FAX.03-3351-5166

コロナ禍での妊産婦を支援

コロナ禍での出産家庭を都独自に支援します。子ども1人あたり10万円分の子育てサービスや育児用品などを提供。公明党の申し入れで対象が拡大しました。(2021年4月からの条件を、同年1月1日以降に)

不妊治療を支援

2022年4月から、不妊治療が保険適用になります。それまでの間、助成額が2回目以降も15万円から30万円に増額されます。

▶動画「不妊治療に保険適用へ」



2021年
春号

新宿総支部ニュース

—KOMEITO—
公明党

www.shinjukukomei.com

【発行元】公明党新宿総支部 〒160-0015 新宿区大京町 29 作道ビル 201 Tel.03-5363-2203 Fax.03-5363-2204

ともに前へ ともに未来へ

#いのちを守る 古城まさお

みんなの
#いのちを守る

区内49駅中41駅にホームドア設置完了! (区境駅、3月中に運用開始含む)

3月6日にJR市ヶ谷駅に完成。3月中に西武線・高田馬場駅にも整備されます
いのちを守るホームドアの全駅への設置を推進します

- 実績
- 新型コロナ対策として、パルスオキシメーターの導入と専用病院設置を実現
 - 高齢者への肺炎球菌ワクチン接種助成(2500円)を推進

- 挑戦します
- 肺炎球菌ワクチン接種の完全無償化を目指します
 - がん治療に重粒子線治療の導入を目指します

災害から
#いのちを守る

すべての小中学校の体育館に冷暖房を設置!

災害時には避難所にもなる区内すべての小中学校体育館・武道場に、冷暖房の空調を整備しました(2021年3月末までに完了予定)

- 実績
- 1時間に60ミリの降雨に対応できる「環状七号線地下広域調節池」の整備を実現
 - 木密地域に初期消火用のスタンドパイプ導入を実現

- 挑戦します
- ゲリラ豪雨に備え「調節池」の1時間に75ミリの降雨対応へ拡充を目指します
 - 都営住宅の耐震化を推進します

未来の
#いのちを守る

「LINE相談窓口」開設で若者の相談が6倍に!

若者の相談窓口「相談ほっとLINE@東京」の開設を実現。LINEで気軽に利用できることから、コロナ禍での悩みなども寄せられています。10代の相談数は、電話に比べ6倍超に

- 実績
- 新生児聴覚検査の公費補助を実現
 - 多子世帯の保育料、2歳までの保育料は半額、第3子は無償化を実現
 - 子育て世代包括支援センターの設置を推進(令和3年度)

- 挑戦します
- 多子世帯、共働き家庭を支援。第2子の保育料の無償化を目指します
 - 高校3年生までの医療費無償化を目指します



古城まさお
都議会議員

特別対談

森田 実
政治評論家



コロナ禍という未曾有の危機と戦う日本社会にあって、今、政治に一番大事なものは、——。政治評論家の森田実氏と、都議会公明党の最若手として活躍する古城まさおが縦横に語り合いました(中面)

「特別対談」はこちら▶▶▶

暮らしの相談は
お気軽に!

公明党新宿総支部 ☎03-5363-2203 FAX 03-5363-2204
http://www.shinjukukomei.com/



特別対談

古城まさお × 森田 実
都議会議員 政治評論家古城まさお
都議会議員

ホームページ

www.komei.or.jp/km/kojomasao/

f www.facebook.com/kojomasao/

t @kojomasao

kojomasao



Facebook



Twitter



LINE



Instagram

公明党は「“ワンチーム”として団結」「日本の柱」

一番大事なものは
国民への「優しさ」

古城まさお●都議選への初挑戦の折、森田先生から「不屈の楽天主義を」との激励を賜り、その言葉を胸に走ってきました。このたび、2期目に挑戦します。これまで「新生児聴覚検査の公費補助」や、若者のSNS相談窓口である「相談ほっとLINE@東京」などを実現できました。

森田実●新人議員として地道に誠実に活動してこられたこと、よく存じ上げています。古城さんの実績は、ベテラン議員のそれに並ぶものだと思います。そしてそこには、人々に対する古城さんの「優しさ」が存分に感じられるのです。

今の日本の政治に欠けていて、実は一番大事なものの。それは、すべての国民に対する「優しさ」です。それを古城さんは持っておられると思うのです。

古城●過分な評価をいただき恐縮です。

“政治が公明党化”
している

森田●現在の政治の難しさは、インターネットの普及とともに不正確な情報が乱れ飛ぶようになり、嘘がどんどん拡大していることです。この状況を打開できるのは、公明党だと思っています。なぜなら、公明党の人たちは誠実で、嘘をつきませんから。道徳的ですから。

そして公明党は、緻密な調査をした上で、大衆が本当に希望することを政策としてまとめあげている。大衆に根差しているわけですよ。だから新宿区も、東京都も、国も、公明党の政策を取り入れて実行している。ある意味で、“政治が公明党化”していると言えますね。

古城●例えば新宿区が実施している、自宅療養のコロナ患者の方に食糧をお配りする取り組みも、区議会公明党が提案したものです。また都議会公明党は、新型コロナ対策について都知事に30回を超える緊急要望を行ってきました。

森田●公明党は、日本の政党の中で一番優れている政党だと思います。

第一に、国会議員、地方議員、そして党員・支持者の方たちが、“ワンチーム”として団結しています。

もう一つは、人々の悩みや苦しみの中に飛び込んで、その人たちが必要としていることを具体的な形にしている。だから公明

党の提言には重みがあるのです。まさに公明党は「日本の柱」だと思いますね。

SNS時代の
リーダーとして

古城●私は、より多くの方に安心感を届けたいとの思いで、SNSを使って、「#新型コロナに負けない」と題した情報を積極的に発信してきました。

一方で、都内の経営者の方から、従業員が新型コロナに感染し、誹謗中傷されたとの相談を受けました。そこで私は都に「コロナ差別をなくすべきだ」と訴え続けたのです。その結果、「戦うべき本当の相手は人ではなくウイルスです」との言葉を記載したポスターが誕生し、差別防止の取り組みを一步前進させることができたのです。

森田●SNS時代のリーダーとして行動される古城さんに、敬意を表します。そして、弱い立場の人を守り抜く行動に、心から感謝を申し上げます。



公明党の魅力は、困っている人の所へ、一番先に飛び込んでいることです。一人一人の悩みに耳を傾け、悩みを語ってもらうことによって、その人の立ち直りのきっかけを与えているんです。

しかも公明党は、見返りを求めない。まるっきり「奉仕の精神」「慈悲の精神」で働いている。ここに偉さがありますよ。

「雨ニモマケズ
風ニモマケズ」

森田●私は古城さんとお会いするたびに、頭の中にいつも、宮沢賢治の「雨ニモマケズ 風ニモマケズ」の詩が閃くんです。この詩のように、古城さんは、どんな試練の風雨にも負けず、堂々と勇敢に前進しておられる。本当に素晴らしいことだと思います。

これからも「不屈の楽天主義」で、存分に力を発揮してください。新宿区民・東京都民の一人として、古城さんの活躍を心から応援しています。

古城●激励のお言葉、本当にありがとうございます。

今ほど「小さな声を聴く力」が求められている時はないと思います。「大衆とともに」との立党精神を改めて深く胸に刻み、区民・都民の皆さまのために働き抜いてまいります。そして、コロナ禍から人々の命と生活を守り抜き、“誰一人取り残さない”社会を築いてまいります。

森田 実
政治評論家

PROFILE

もりた・みのる／1932年、静岡県伊東市生まれ。東京大学工学部卒業。日本評論社出版部長、「経済セミナー」編集長などを経て、73年に政治評論家として独立。テレビ・ラジオ・著述・講演活動など多方面で活躍。中国・山東大学名誉教授。東日本国際大学客員教授。著書に『森田実の言わねばならぬ 名言123選』（第三文明社）など多数。フェイスブックでコラム「森田実 世界研究室通信」を連載中。（アカウントは「@moritasouken」）

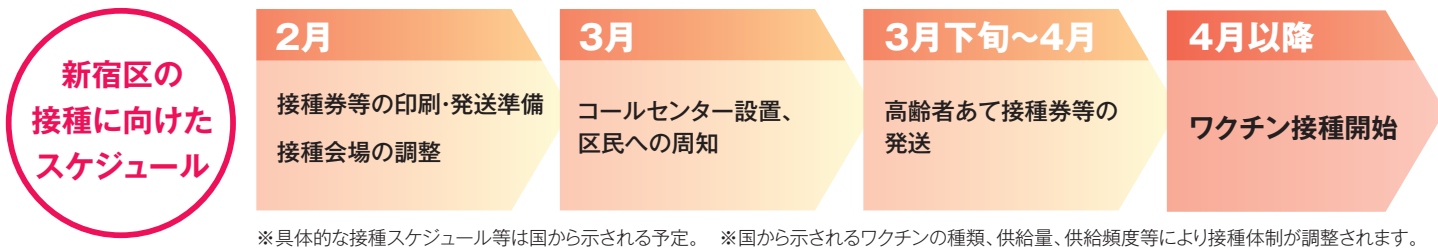
紙面に載せきれなかった森田実氏からの公明党、古城まさおへの期待をご覧ください。



いよいよ始まる ワクチン接種

接種対象の
希望者全員に無料で

新型コロナウイルス感染の収束のカギを握るワクチンについて、新宿区では、接種に向けた準備が進められています。ワクチン接種にこぎつけるまで、公明党はワクチン確保などに全力で奔走してきました。3月1日現在、以下が予定されています。



接種を受けるための手続き

- ①「接種券」と「予診表」などが届きます。
- ②ワクチンを受けることができる医療機関や接種会場をご確認ください。
- ③電話やインターネットでご予約ください。
- ④ワクチンを受ける際には、「接種券」と「本人確認書類（運転免許証、健康保険証など）」を必ずご持参ください。また「予診表」も事前記入の上、お忘れなく。

※接種費用は、全額公費（無料）で接種できます。

接種場所

地域センターや元気館等の区施設および区内病院等（集団接種）、区内の診療所等（個別接種）

※国から示されるワクチンの種類、供給時期、供給量などをもとに、医師会や区内医療機関と協議中。

副反応対策

なお、副反応対策として、集団接種の会場に、接種後の待機スペースを設けるとともに、医療職や器材等の配置が予定されています。

お問い合わせ

新宿区新型コロナウイルス
ワクチン接種コールセンター

☎0570-012-440（午前8時30分～午後7時。土日・祝日等を除く）
※ワクチンの接種方法や、接種会場、接種券の発送等に関する問い合わせに応じます。

●新宿区の最新情報は、区ホームページでご確認下さい。

QRコード（新型コロナウイルスワクチン接種について）▶



知っ得情報

こんな時どうする!?

発熱した場合



かかりつけ医が
いる

かかりつけ医に電話をして受診

かかりつけ医が
いない

▶東京都発熱相談センター 03-5320-4592（24時間：土日祝含む毎日）

▶新宿区発熱等電話相談センター 03-5273-3836（平日：9時～17時）

接触確認アプリ
(COCOA)で
通知が来た場合

▶東京都COCOA専用ダイヤル ※番号はアプリから通知（24時間：土日祝含む毎日）
▶新宿区発熱等電話相談センター（区保健所）03-5273-3836（平日：9時～17時）



感染不安や
予防など
相談したい場合

▶東京都新型コロナコールセンター 0570-550571（9時～22時：土日祝含む毎日）
▶新宿区 新型コロナウイルス電話相談センター 03-5273-3836（平日：9時～17時）

家計と地域と医療を守る

東京都が編成した、2020年度と21年度の補正予算案には都議会公明党が推進した政策が数多く盛り込まれています。主な事業を紹介します。



家計と地域を助ける

割増率30%

「生活応援`商品券、`事業を実現へ

コロナ禍で厳しさを増す都民の家計を応援し、低迷する消費も喚起するため、区市町村にも協力していただき、使い勝手の良い商品券の発行を都が財政的に支援する事業を、小池知事に強く要請。

このほど、購入額1万円で1万3千円分を地域で利用できる「生活応援商品券」の発行支援を推進。都内全世帯で申込みが可能となるような予算規模も確保されました。今後、区市町村で検討されます。

「子ども1人10万円分の出産応援」事業を創設

～1月に遡^{さかのぼ}って対象拡大～

都内の出産費用が全国平均を大幅に上回っていることを考慮し、コロナ禍で子どもを産み育てる家庭を都独自に支援するよう小池知事に要望。子ども1人あたり10万円分の子育て支援サービスや育児用品等（200

点超から選択）が提供されることになりました。当初、2021年4月1日以降に出生した子どもを持つ家庭が対象でしたが、都議会公明党の更なる申し入れにより同年1月1日以降に対象を拡大しました。

「医療従事者の特別勤務手当」を大幅に増額

～1日あたり3千円から5千円に～

都議会公明党は小池知事に対し、医療現場で奮闘されている医療従事者の特別勤務手当を引き上げるよう繰り返し要望。

このほど、民間医療機関等および都立病院に勤務している医療従事者を対象に、現在の1日あたり3千円から5千円に増額することが決定。緊急事態宣言が再発令された、2021年1月8日に遡^{さかのぼ}及して適用になります。



「肺炎球菌ワクチン接種」で高齢者の自己負担を軽減

都議会公明党は、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種について、区市町村が自己負担を軽減しているものの、接種率が3割程度にとどまっていることを踏まえ、都として補助を検討するよう提案。

さらに自己負担分を軽減するため、都が2500円を補助することを推進しています。



暮らしの相談は
お気軽に!

公明党新宿総支部 ☎03-5363-2203 FAX03-5363-2204
<http://www.shinjukukomei.com/>

